



ほうへいかいほう

Vol.92 2024.3.15

豊平會報

北海学園大学同窓会 ● 編集責任者 / 木村勝照 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 TEL 011-841-1161



1期生 1954年卒業アルバムより「最初の校舎正門にて」

C O N T E N T S

- 2 令和5年度「同窓の夕べ」開催
- 4 令和5年度 全国支部長会議開催
- 5 卒業おめでとう
- 6 就職戦線 2023
- 7 2024年度 入試動向について
- 8 輝く北のまち紹介リレー 大空町
- 9 卒業生奮闘記
- 10 現役学生インタビュー
- 11 祝 河崎秋子さん直木賞受賞 / 令和5年秋の叙勲と褒章
- 12 卒業生アンケート調査 / 第I種奨学金給付
- 13 同窓生のお店探訪 / 豊平会 100円満腹丼
- 14 支部だより
- 15 支部現況・連絡先
- 16 事務局からのお知らせ



同窓の夕べ

令和5年度
総会・懇親会

開催報告

Pioneer Spirit 4年ぶりの再会！
北の都に輝く星は凜とそびえる北海の…
集いし我等！



森下宏美学長



恩師・来賓紹介



北海商科大学 堂徳将人学長

令和5年度 総会・懇親会「同窓の夕べ」が10月21日(土) 18時00分より 札幌パークホテルにて開催され、同窓生・学園・大学関係者約500名にご参加いただきました。

総会は、OBの森基誉則さんとOGの吉野圭子さんの司会で始まり、大澤定雄副会長の開会宣言後、関寛会長の挨拶、森下宏美学長の祝辞と続き、木村勝照事務局より会務報告が行われました。その後、同窓会各支部長が紹介され、城秀夫副会長により閉会宣言がされました。

引き続き、森さんと吉野さんの司会で恩師、来賓の紹介後、北海商科大学 堂徳将人学長の祝杯で懇親会が始ま

りました。大学草創期から現在までをたどるスライドショー、海外旅行や温泉旅行をはじめ豪華な景品が当たる学園グレートビンゴで、会場は熱気に包まれ大変盛り上がりました。最後に全学応援団指導部 第69代小林侑市団長によるリーダー公開と全員で学生歌を斉唱し、宮本雅次副会長の三本締めで幕を閉じました。

道内外からご参加いただいたOB・OGの皆さま、ありがとうございました。

QRコードより学歌・学生歌が聴けます





「同窓の夕べ」に初めて参加したOB・OGから感想をいただきました！

学部や卒業年を超えて新たな繋がりができました。ビンゴ大会もみんなで盛り上がり、参加して良かったです！



今回初参加で、とある会社さんのグループと相席でしたが歓迎の空気で居心地良かったです！学園生であったことを改めて心に刻めました。

最初は緊張しましたが、先輩の皆さまが優しく接してくれたり、自分の所属学部以外の同級生と話す機会があったりと、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。来年もぜひ参加させて頂きたいと思います。



ビンゴ景品のご寄贈 ありがとうございます

- (株)アイワード
- 岩田地崎建設(株)
- カタギリ・コーポレーション(株)
- 小林酒造(株)
- 札幌酒精工業(株)
- 札幌トロフィー(株)
- 札幌パークホテル
- ジンコーポレーション(株)
- (株)須田製版
- (株)T&N 北海道設計事務所
- 道路工業(株)
- 中道リース(株)
- (株)ナシオ
- (株)ニトリホールディングス
- (株)マキ商会
- (株)ラポット

敬称略・50音順



おめでとうございます！
ビンゴ当選者

- 海外旅行 2泊3日ペア 1組
勇崎建夫氏
(経 | 経・昭和44年卒業)



- 温泉旅行 1泊2日ペア 3組
- 大澤定雄氏 (経 | 営・昭和45年卒業)
- 山本智則氏 (法 | 法・昭和63年卒業)
- 高橋駿哉氏 (経 | 地・令和5年卒業)

令和5年度 全国支部長会議開催



令和5年度「全国支部長会議」が10月21日（土）12時20分より札幌パークホテルにて開催され、全国36支部の支部長、支部代表者が札幌に集まり、役員、事務局員合わせて56名が出席しました。木村勝照事務局長の開会宣言後、関寛会長より謝辞と挨拶、近況が報告されました。

会議は、出席した支部長、支部代表者より支部総会開催報告・開催予定、周年事業活動、支部の現状や課題、

事務局への要望について報告されました。その後、質疑応答と意見交換が行われました。

終了後は、森下宏美学長の特別講演会「北海学園大学のいま」が開催され、大学の取り組み、現役学生の活動、同窓生の活躍や同窓会とのつながりなどを交えながらお話いただきました。

出席者全員、現在の母校の発展や活動の様子を真剣な表情で聞き入っていました。

卒業おめでとう



卒業生の声

- Q1 学園大に入って良かったこと
- Q2 大学で頑張ったこと
- Q3 4月からは… (進路など)
- Q4 あなたにとって「仲間」とは

経済学部地域経済学科 齋藤 亮介

所属ゼミ/水野邦彦ゼミ



- Q1 多くの学生に出会えるところです。この大学に入って、自分とは違う価値観を持った多くの学生に出会えたことで、自分自身の価値観の幅も広げることが出来たと感じています。
- Q2 資格勉強です。入学がコロナ禍の最中であり、私は自身の成長に時間を費やし、ファイナンシャルプランナーや宅地建物取引士試験などに合格することが出来ました。このような自発的に勉強をする習慣は就職後も活かせると感じています。
- Q3 銀行員として働きます。業務はもちろん、資格など勉強の毎日なので、学生生活で培った自発的に勉強をするという習慣を活かしながら精一杯努力します。
- Q4 互いの良い所、悪い所を言い合える関係だと思っています。そういった気心を許せる人達に出会うことは簡単な事ではないので、今後も今ある関係を大切にしていきたいです。

人文学部日本文化学科 古屋 奈々帆

所属ゼミ/須田一弘ゼミ
所属サークル/ジャズ研究会 (1年時)



- Q1 たくさんの人と出会えることです。ゼミやサークルでいろいろな人と交流し、視野が広がりました。社会に出たあとも先輩後輩に出会えるところがいいと思います。
- Q2 学業とアルバイトの両立です。この経験から、計画的に行動する力や自分を客観視する力が身についたと思います。
- Q3 国家一般職職員として働きます。大学生活で身につけた力を活かして、新しい環境でも頑張ります。
- Q4 自分を成長させてくれる存在です。仲間がいたから、辛い試験勉強やアルバイトも乗り越えられました。また、言葉を交わすことで考え方の幅が広がるのを感じました。

経営学部経営情報学科 田巻 日菜乃

所属ゼミ/田村卓哉ゼミ
所属サークル/硬式庭球部



- Q1 文武両道に取り組める環境が充実しています。特に、就職活動ではキャリア支援センターの手厚いサポートと部活動では大学・OB から心強い応援があったことです。
- Q2 硬式テニス部に所属し、団体・個人戦で全道優勝し、インカレに出場しました。一つのことに全力で取り組むことが就職活動の際にも強みになりました。
- Q3 六花亭で働きます。仕事もプライベートも一生懸命にやることを基本理念とした様々な取組に共感し、入社したいと思いました。
- Q4 相手を思いやり、ともに高めあい、その志を行動に移せることができる人の集まりだと思います。

工学部社会環境工学科 小野寺 陸

所属ゼミ/鈴木洋之研究室



- Q1 立地がいいところです。豊平キャンパスは地下鉄直結で、学園前付近は家賃も安い気がします。すすきのまでも徒歩 30 分程度という点も魅力的です。
- Q2 研究です。12月に入ってからは特に力を入れており、朝から晩まで研究の毎日でお酒も飲んでいませんでした。息抜きは帰り道のランニングでした。
- Q3 建設コンサルタントとして働きます。お金をたくさん稼ぎたいので残業も休日出勤もウェルカムです。
- Q4 生きる活力です。仲間と過ごした時の写真を見ただけで元気が出ます。周りの人間には恵まれています。

法学部政治学科 安藤 龍

所属サークル/少林寺拳法部



- Q1 部活動を続けることができたことやキャリア支援センターなどの就職活動のサポートが手厚かったことです。説明会や面接練習をしてくださったおかげで良い結果を出すことができました。
- Q2 部活動です。コロナ禍で規制が多かったものの、主将として様々な工夫や対策をし、活動できる環境を整えていました。その結果、全国大会出場や入賞という結果を残すことも繋げることができました。
- Q3 札幌市消防局で消防吏員として働きます。1人でも多くの人を救い、誰からも信頼される立派な消防吏員になれるよう日々頑張りたいと思います。
- Q4 苦楽を共にできる存在です。楽しい時も辛い時もどんな時も支え合ってここまで頑張ってきたと思います。これからは大切にしたいと思います。

大学院工学研究科 修士課程 川岸 淳司

所属ゼミ/所哲也研究室



- Q1 物事を深く追求する研究の醍醐味を味わえ、継続して考えるくせが付いたこと。何より、大学生の娘と話す機会が増えたこと。
- Q2 会社勤務と両立できたこと。研究を通して、常に、なぜこうなり、なぜこうしたのか、などの自問や問いかけに熟考したこと。
- Q3 大学院で培ったことを会社の若手職員へ継承や研究を自分なりに新たな角度で継続し、機会があれば再び学ばせていただきたいです。
- Q4 丁寧に指導していただいた先生方や卒論ゼミ生と楽しく学べました。先生方や学校との繋がり(仲間?)は貴重な財産になりました!



キャリア支援センター長 春日 賢

コロナ禍前の日常に戻りつつある中、国際情勢は一段と混迷し、円安・物価高も続いています。日本経済の先行きは不透明ながら、企業の採用意欲は依然として旺盛です。リクルートの就職みらい研究所の調査によると、10月1日時点の大学生の就職内定率(内々定を含む)は92.0%で、前年同期と同水準(-1.8ポイント)でした。少子化の進行に加えて、就労形態の多様化や産業構造の変化による人材のミスマッチが生じ、慢性的な人手不足の状態にあるようです。本学でも昨年度を上回る求人数で、企業採用担当者が求人活動を積極化し、多数来学してきた感があります。

売り手市場の進行により、企業は選考を早期化させており、前倒しが進んでいます。それに合わせて学生もインターンシップや企業説明会への参加など、3年生の早い時期から取り組むようになりました。一方で企業は中途採用も積極化させており、労働市場は流動化しています。転職を視野に入れつつ就職活動を行う学生も、出てきています。



そうした意識の変化もあってか、学生が業界・企業研究をしっかりと行っていないという企業の声が多く寄せられます。対面での説明会や面接が徐々に増えていますが、コロナ禍の生活に慣れたこともあるようです。手軽な動画を視聴するだけで、業界・企業に対する深掘りができていないのです。また、オファー型サイト等を安易に利用する学生も増加傾向にあり、こうしたことから今後、早期離職者の増加が懸念されます。

就職活動は自分から動くものですが、決して自分一人ですべてを進めていくものではありません。本キャリア支援センターでは、必要な情報を適宜発信し、年間を通じてインターンシップや各種セミナー、模擬面接、学内企業説明会などのイベントを多数開催しています。常時、個別相談も受け付けており、就職活動を手厚くサポートしています。卒業生もご利用いただけます。納得した就職活動を行えるよう、気軽にご活用いただければと思います。



2024年度

入試動向について

入試部長 鈴木 聡士

入試部長 2 年目を迎えました。昨年に引き続き、同窓生としてこの原稿を書く機会に恵まれましたこと、うれしく思っております。

2024 年度入試は、新型コロナウイルス感染症が 5 類へ移行されたことを踏まえ、ほぼ通常モードでの実施となりました。

全国的な入試傾向として、国公立大、私立大とも総合型選抜・学校推薦型選抜等の年内入試による入学者が年々増加しており、2022 年は国公立大で約 20%、私立大で約 58%を占めている状況です。今後もこのトレンドは継続していくものと考えられています。

昨年度・今年度とも、大学入学共通テストの難易度が平年並みであったことから、本学への志願者数に大きな変動はありませんでした（一般選抜：4,246 人（昨年度比 - 0.9%）、大学入学共通テスト利用選抜（1 期）：2,124 人（昨年度比 + 2.7%）、計 6,370 人（昨年度比 0.3%）。（表 1、2 参照）。

これに対して、道内 18 歳人口の前年比は 96.0%（- 4.0%）であることから、18 歳人口のパイが縮小する環境下にあっても、本学の志願者数は、ほぼ横ばいの状態を維持することができております。本学の入試にご尽力いただいた関係各位の努力のおかげです。この場をお借りして、御礼申し上げます。

さて、入試は大きな変革期が訪れています。年内入試の割合が増加し続け、反比例するように、年明け入試の受験者数が全国的に減り続けています。このような状況の変化と将来を見据えて、本学においても 2026 年度入試から、経済学部・人文学部・工学部の 3 学部が先行して、総合型選抜の導入を決定しました。加えて、学内の入試制度委員・入試委員・入試課職員と力を合わせて、一般選抜の改革についてもセットで検討し、2026 年度入試から、抜本的な一般選抜の改革を実行する計画です。

入試を取り巻く環境は厳しさを増し続けていますが、皆さんと力を合わせて、このような荒波をしっかりと乗り越えられるように、不断の努力で入試制度などの改革を着実に実施していきたいと思っております。今後とも、お力添えのほど、よろしく申し上げます。

表 1 2024 年度 一般選抜 志願状況

学部・学科	募集人員	志願者数			
		2023 年度	2024 年度	前年比 (人)	前年比 (%)
経済学部 (経済学科・地域経済学科)	160	1,104	1,063	- 41	96.3%
経営学科	69	549	609	60	110.9%
経営情報学科	55	410	411	1	100.2%
法学部 (法律学科・政治学科)	130	655	593	- 62	90.5%
日本文化学科	50	173	211	38	122.0%
英米文化学科	45	187	165	- 22	88.2%
社会環境工学科	23	115	86	- 29	74.8%
建築学科	20	138	124	- 14	89.9%
電子情報工学科	35	176	182	6	103.4%
生命工学科	20	102	114	12	111.8%
1 部計	607	3,609	3,558	- 51	98.6%
経済学部 (経済学科・地域経済学科)	53	220	220	0	100.0%
経営学科	50	164	166	2	101.2%
法学部 (法律学科・政治学科)	72	216	228	12	105.6%
日本文化学科	13	49	47	- 2	95.9%
英米文化学科	9	28	27	- 1	96.4%
2 部計	197	677	688	11	101.6%
合計	804	4,286	4,246	- 40	99.1%

表 2 2024 年度 大学入学共通テスト利用選抜 (1 期) 志願状況

学部・学科	募集人員	志願者数			
		2023 年度	2024 年度	前年比 (人)	前年比 (%)
経済学部 (経済学科・地域経済学科)	30	277	235	- 42	84.8%
経営学科	45	297	378	81	127.3%
経営情報学科	45	317	304	- 13	95.9%
法学部 (法律学科・政治学科)	30	216	184	- 32	85.2%
日本文化学科	12	128	193	65	150.8%
英米文化学科	12	169	165	- 4	97.6%
社会環境工学科	10	127	121	- 6	95.3%
建築学科	12	135	129	- 6	95.6%
電子情報工学科	10	213	215	2	100.9%
生命工学科	12	128	129	1	100.8%
1 部計	218	2,007	2,053	46	102.3%
日本文化学科	6	38	36	- 2	94.7%
英米文化学科	6	23	35	12	152.2%
2 部計	12	61	71	10	116.4%
合計	230	2,068	2,124	56	102.7%
志願者数合計		6,354	6,370	16	100.3%
道内 18 歳人口		44,276	42,523	- 1,753	96.0%

*経済学部・法学部は学部単位の募集です。

輝く北のまち 紹介リレー

人口：6,656人
面積：343.66km²
(令和5年10月末現在)

おおぞらちょう
17 大空町

～大空と大地が広がる農業の盛んな東北海道の空の玄関口～



東藻琴
芝桜公園

満開になると10万km²におよぶ広大な斜面は、まるでピロートの絨毯を敷き詰めたように彩られる。

大空町は平成18年に旧女満別町と旧東藻琴村が合併して誕生した町で、北海道北東部に位置し、オホーツク地域の中心都市、北見市と網走市に隣接した町です。

旧女満別町は明治23年、マッチ軸木材伐採のために造材小屋が造られ、人が居住したのを開拓のはじめとし、北見～網走間の鉄道が開通したことで急速に入植者が増えたことで女満別村が誕生、昭和26年に町政を施行しました。旧東藻琴村は明治39年、5人の先人が仮小屋を設けて定住入地したのが始まりとされ、昭和22年に網走町の市昇格とともに分村し、東藻琴村が誕生しました。

誕生から18年目を迎えた大空町は、東北海道の空の玄関口である女満別空港を有し、札幌はもちろん東京、大阪などへのアクセスが良好です。標高0メートルの網走湖から1000mの藻琴山頂上までは、なだらかな丘陵地帯が続き、黒澤明監督映画の舞台ともなったフォトスポット「メルヘンの丘」や春になると斜面全体がピンク色に染まる「ひがしもこと芝桜公園」、湖ならではのアクティビティやキャンプで賑わう「網走湖女満別湖畔」、広くオホーツクを見渡せ、名水「銀嶺水」が湧き出る「藻琴山」など、四季折々に北海道らしい雄大で美しい景観を気軽に楽しむことができます。中心的な産業は農業で、肥沃な田園丘陵地帯が広がる中央部は畑作地帯となっており、西部



大空町のチーズオールスターズ「ひがしもこと乳酪館」で作られているチーズはふるさと納税でも大人気の1品。

の網走川に沿った平地には稲作

松川 一正
大空町長

法学部1部法律学科
第26期・平成4年卒業



ユニークなイベント ロール転がしどってん酷
4人1チームで400kg(女子は300kg)の牧草ロールを転がし、ゴールまでのタイムを競う。

地帯、南部の藻琴山麓には酪農地帯が広がっています。特にブランドともなっている東藻琴の長いもと5月から6月にかけて収穫される女満別のアスパラは、全国各地からお取り寄せされるおススメの一品となっています。また、乳製品も多く生産され、「ひがしもこと乳酪館」で作られているチーズや牛乳は観光客にも人気の品です。イベントでは、5月の1ヵ月間にわたって開催される「芝桜まつり」、夏の女満別湖畔での「花火大会」や「ドラゴンボート競技会」、8月に行われる牧草ロールを転がすレース「ロール転がしどってん酷」、10月下旬にもこと山から駆け降りるハーフマラソン「ふきおろしマラソン大会」などを開催し、賑わいを見せています。

私は平成4年3月卒業し、同年4月から生まれ故郷である合併前の旧女満別町役場に就職いたしました。旧女満別町役場、合併後の大空町役場で30年間勤務し、令和4年4月から大空町長に就任しました。人口減少、少子高齢化で大変厳しい状況ではありますが、北海学園で育まれた逞しさと行動力をもって、町民皆さんの幸せを実現するべく、日々努力しているところです。

学生の皆さん、4年間の大学生活はあっという間に過ぎてしまいます。是非、様々な経験をし、たくさんの友人を作ってください。きっと皆さんのこれから歩まれていく人生の中での宝物になるはずですよ。

皆さんの今後益々のご健闘・ご奮闘を心からお祈りいたします。



道内の作家さんたちと作る、ゆるキャラの世界

■書店でのバイトとバンド活動に熱を入れた学生時代

高校まで函館で生まれ育った私は、北海学園大学に入学し札幌でひとり暮らしを始めました。地下鉄南北線が勢いよく地上に出るさまが好きだったので、霊園前駅（現・南平岸駅）の近くのアパートです。その大家さんが書店を経営していたので、そこがアルバイト先にもなりました。

一方で私は高校の吹奏楽部でパーカッションを担当していたので、大学では音楽サークルに入りました。その後は自分たちでバンドを組みドラムを担当し、十月祭や札幌のライブハウスで活動しました。「6ペンス」というバンド名なのですが、「BAND EXPLOSION'87」北海道大会でグランプリを獲得して、日本武道館で行われた世界大会では準グランプリを獲りました。メンバーは皆、このままバンドで食べていこうと留年するくらい熱中していたのです。卒業してからも、私は本屋のバイトをしながらバンド活動を続けました。いわゆるフリーターですが、当時この言葉には、目指すものがあってそこに向かっていく人、というニュアンスがありました。

80年代後半は、音楽がレコードからCDに移り変わる時代です。アルバイト先で私はCDのレンタルコーナーを任されていたので、ザ・フーとかキックスなど、自分の好きなブリティッシュロックばかりを並べて異常にマニアックな棚を作っていました。



大学4年生の頃

■「テレビ父さん」が新しい人生を切り拓く

26歳になって、バンドとしては残念ながら芽が出ず、アルバイト先の書店で社員になりました。コミックの担当です。1990年前後は「ドラゴンボール」や「スラムダンク」など、ものすごく勢いのある作品が目白押しでした。そして知り合いのミュージシャンのインスタライブや、「オリコン」（音楽情報誌）のバックナンバーフェアなど、自分なりに工夫した企画がどんどん上手く行って、商売って面白いな！と思いました。

kameさんという札幌のイラストレーターのポストカード展をやってみると、驚くほどの反響がありました。暴走気味のスタンドプレーですが、これで商売ができないか、と思い始めました。というのはちょうどそのころ、その書店が全国チェーンに買収されて、これからは自由な企画ができない状況になったのです。35歳で会社勤めを辞めました。

卒業生奮闘記

合同会社・
工房アルティスタ
代表社員
永谷 久也
NAGATANI Hisaya

法学部1部法律学科
第23期・
1989（平成元）年卒

本社
〒060-0052
札幌市中央区南2条東2丁目16番地 堀尾ビル1階
TEL：011-232-5523 FAX：011-398-3090

各種商品はオンラインショップと本社内の購買部でお求めいただけます。営業時間など詳細はホームページをご覧ください。

ホームページ <https://kobo-artista.com/>



ポストカード展を成功体験として、知り合いのイラストレーターの作品をTシャツやポストカードにして、お土産グッズを扱う店やホテルなどに飛び込み営業したのですが、ことごとく失敗。ケンモホロ口とはこの事かと笑いたくなるほどでした。そんな日が続いて、ある日さっぽろテレビ塔に営業に行くと、出てきた方が、「うちを素材にしたオリジナルなら考えても良いけど…」と言います。冷静に考えれば体よく断る口実だったのでしょが、こっちは完全に真に受けて、すぐ作家さんに相談しました。

そこから誕生したのが「テレビ父さん」です。全国的なゆるキャラブームの勢いを受けて無事商品化され、やがて人気に火が付きました。テレビ父さんはテレビ塔の「非公認キャラクター」となりました。道内の作家さんの作品を使ったキャラクターグッズを、自社工房で少数だけ手作りして販売するという、現在につながるビジネスがここから立ち上がりました。

■札幌市公認サッポロスマイル PR 大使の「ジンギスカンのジンくん」

2003年からは札幌の大通公園で開かれる「ミュンヘンクリスマス市」で、道内作家さんによるクリスマスカードの販売を始めます。北海道の作家さんたちとの関わりも広がり、当初は個人事業で始めましたが、2007年に現在の法人を立ち上げました。

近年のヒットは、イラストレーターのはしあさこさんから持ち込まれた「ジンギスカンのジンくん」というキャラクターです。SNSから人気に火が付きました。着ぐるみを作って全国ツアーも行い、今では我が社を代表する人気者になりました。2016年からは、札幌市公認サッポロスマイル PR 大使の役も担っています。

東日本大震災（2011年）やコロナ禍など、人の動きが止まるとゆるキャラたちの活躍の場が減って苦しい時期もありました。しかしこれからも、「北海道の作家さんと協力しながら、自分たちが本当に作りたいものを手仕事で作って、自分たちで売る」、というスタイルは貫いて行きたいと思えます。価格や規模とは別次元のモノづくりです。実は現在も仕事のかたわら、音楽活動を細く長く続けていますので、機会があれば聴いてください。

（2023年11月28日 合同会社・工房アルティスタ本社にてインタビュー）

Interview>>>



北海学園大学全学応援団指導部
第69代団長

こばやし ゆういち
小林 侑市 さん
(法学部法律学科3年)

現役学生
インタビュー

誰かのために、
そして母校のために、
頑張る喜び



全学応援団指導部の
情報はこちらから➔



X(旧 Twitter)



Instagram

コロナ禍もあり、残念ながら休止状態にあった全学応援団指導部が2023年の春に復活しました。その立役者で第69代団長である小林侑市さんに、活動の内容や伝統への思いを聞きました。

―応援団指導部が復活した経緯は？

私は昨年(2022年)から、北海学園大学の先輩である中村裕之衆議院議員の事務所で勉強をさせていただいています。入学した年から自民党北海道連学生部に入って活動していたこともあり、中村議員の札幌事務所で公募があったので挑戦してみました。それがきっかけとなり、同じく本学の先輩である武市憲一元札幌市議会議員から連絡が入り、事務所に呼ばれたのです。武市先輩は応援団OB尚志会の会長で、団の休眠状態をかねてから憂っていました。そのことを真剣に語りながら、まず東北学院大学との定期戦で、君が応援を担ってくれないか、とおっしゃいます。実は中学高校と私は帰宅部だったのですが(笑)、そこまで言っていただけのならば、と決心しました。

私ひとりでは「団」にはなりませんから、ゼミや他の部活のメンバーを太鼓と団旗持ちへとなんとかか口説き落とし、コアメンバー3人で活動を始めました。武市先輩から応援団OBである齋藤晃広監督にお声がけい

ただき、お仕事が終わった時間から、発声や演舞、エールに始まり、学歌、学生歌など応援の基本をみっちり仕込んでもらったのです。東北学院大学定期戦での野球の試合がデビューとなりました。緊張はしましたが、もともと声は強い方だったので、何とか形にはなっていたと思います。応援の現場で私たちは、チアリーディング部、そして吹奏楽団の有志を束ねる役目も果たしますが、ピンチ、チャンス、得点など試合の流れを読みながら、この3つの組織が一体となってメリハリの効いた応援を繰り広げます。そのためにはもちろん、しっかりとした合同練習が欠かせません。

―応援団に伝わる精神と、活動を通しての気づきや学びはありましたか？

応援活動の最大の目的は、母校の発展にあります。そのために選手たちと在学生、そして卒業した諸先輩をより強く結びつけるのが応援団の仕事です。そこで大切なのは、歴代の団員によって磨かれてきた「規律・礼儀・団結」の精神だと思います。私自身諸先輩たちと接しながら、応援団の活動を通してこうしたことが身につく、自分も成長できていると感じています。

応援団を復活させる役目を担うことになって、何事においても、自分が努力すべき目標のレベルが高まったと思います。選手たちはみな、試合にのぞむためにたいへんな努力をしています。そのことを考えると、自分の努力はまだ足りない、という思いが自然に湧いてくるのです。試合に勝てばこれほどうれしいことはなく、負ければこれほど悔しいことはありません。ただ観客として観戦

したり応援するのではなく、チームの一員となって戦っている気持ちになれるのです。全力でやっている仲間を、全力で応援することは、一方的な応援ではなく、選手とそのまわりにいる人たち全員のために自分がいるんだ、という実感をくれます。こういう感情は、やっていて始めて実感しました。

―在学生や諸先輩にメッセージをお願いします。

まずは応援団の活動に注目してください、とお願いしたいです。そして在学生には、私たちのことを知って、一緒にやってみませんか、と訴えたいです。応援団というとゴリゴリの硬派で、厳しいだけの不自由なイメージを持っているかもしれませんが、しかし私たちは、「規律・礼儀・団結」の伝統をしっかり守りながらも、自分たちなりの発想やセンスで自由な活動を志向しています。それは当然、チアリーディング部や吹奏楽団との協働にも言えます。大学に入って、自分を変えてみたい、新しいことにチャレンジしたい、という人に応援団はぴったりです。あるいは、高校では選手でめいっぱい頑張ったけれど、大学では応援する側に回してみようかな、と考えることもできると思います。応援団に入ると就活にも強いですよ(笑)。

この記事を読んだ皆さんは、どうぞまわりにお声がけをお願いしたいと思います。メンバーは男女を問いません。母校のために何かをなすことの誇りや喜びを、もっと多くの仲間と共有できれば、と考えています。

(2023年11月27日 北海学園大学同窓会会議室にてインタビュー)



祝 河崎秋子さん直木賞受賞

本学経済学部卒業生の作家 河崎秋子さんが、最新作『ともぐい』で第170回直木賞を受賞しました。本学卒業生初めての快挙であり、心よりお祝い申し上げます。

河崎秋子さんより、この春卒業される新卒業生に素敵なメッセージをいただきました。



卒業生の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。

『ともぐい』新潮社

在学中、アルバイトなどに精を出された方は既にお気づきかもしれませんが、社会人になって世界がガラリと変わるようなことはありません。理不尽と幸福の濃淡がある海の中を、いかに淡々と泳いでいけるかです。ただ、学生の頃より疲れることは少し増えるかもしれません。

一応、物書きらしい助言を申しておきますと、新しい生活の中で、もしよければ好きな本を一冊、お傍に置いてください。普段ご飯を食べるテーブルの隅や、枕元で充電するスマホの横とかでいいです。最後まで読み終えてなくても、表紙が気に入っている雑誌でも構いません。

その本は味方なのだと思います。他人の思考によって作られた本が一冊、常にあなたの傍にある。それだけで、自分の精神が揺らいだ時、ほんの少しだけあなたのことを支えてくれます。二十年以上前の卒業生からの戯言ですが、信じてくれると嬉しいです。

令和5年秋の叙勲

木村和範名誉教授(第9代学長)と、大塚龍児法務研究科教授が長年の教育研究功勞に対して瑞宝中綬章を受章されました。

木村 和範 名誉教授

経済学部兼大学院経済学研究科教授(昭和61年)

経済学部長(平成11年～平成14年)

経済学研究科長(平成15年～平成18年)

第9代学長(平成23年～平成29年)

大塚 龍児 法務研究科教授

北海道大学を定年退職(平成26年3月)

本学法務研究科教授(平成26年4月～)

令和5年秋の褒章

小林米三郎 同窓会副会長(経1営17期・昭和60年卒業)が黄綬褒章を受章されました。

小林 米三郎 副会長

明治11年創業の老舗「小林酒造株式会社」4代目社長。

平成24年北海学園大学OB異業種ネットワーク設立、

同年5月～令和5年11月まで代表世話人。

平成18年より同窓会幹事、令和4年同窓会副会長に就任。

体育会山岳部創立70周年記念式典

山岳部は、令和4年に創立70周年、令和5年に札幌岳冷水小屋管理70周年を迎え、令和5年9月9日(土)、ホテルノースシティにて創立70周年記念式典を行いました。式典の前には、高橋伸幸部長の「大雪山の自然環境」と題した記念講演が行われ、式典には山岳部OBに加えワンダーフォーゲル部、岳友会両OBも集い旧交を温めました。

「山は学校山小屋は校舎」の合言葉のもと、次の100年に向けてスタートを切りました。



卒業生アンケート調査へのご協力をお願い

このたび北海学園大学では、卒業後一定の年数を経過した卒業生の方に、教育の成果(役立ち度)、本学への期待・要望、キャリア意識、帰属意識に関するアンケート調査を実施いたします。調査結果は、今後の本学の教育活動等の改善及び在学生への各種支援内容の向上のため役立てます。対象となる卒業生の皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

■対象となる卒業生

卒業後3年、5年、7年を経過した学部卒業生の方

3年：2021年3月卒業の方、2020年9月卒業の方

5年：2019年3月卒業の方、2018年9月卒業の方

7年：2017年3月卒業の方、2016年9月卒業の方

■アンケート実施期間

2024年3月15日(金)～5月15日(水)

■アンケート入力先

Google フォームを利用しています。ログイン不要・無記名式。回答時間：3～5分程度



■お問い合わせ

お問い合わせは、北海学園大学学長室までお願いいたします。(以下のお問い合わせフォームをご利用ください)
<https://www.hgu.jp/forms/contact-form.html>
 本調査の回答は「個人情報の保護に関する規程」に基づき、上記目的以外には一切使用しません。

令和5年度 北海学園大学同窓会第1種奨学金給付

平成27年より実施している同窓会第1種奨学金(1人12万円給付型)の奨学生19名が決定し、令和5年9月29日(金)、4号館10階にて、森下宏美学長、須田一弘副学長、佐藤淳副学長と各学部長にご出席いただき認定証授与式を執り行いました。

関寛会長より出席した奨学生一人一人に励ましの言葉とともに認定証が授与されました。



グリークラブOB会 第4回定期演奏会

令和5年10月8日(日)、グリークラブOB会第4回定期演奏会が札幌コンサートホールKitaraで開催されました。札幌在住のOB・OG・現役生をはじめ、東京在住のOB、学長の森下宏美先生も出演され、世界の歌やポップス、男性合唱組曲などが披露され、満員の会場から盛大な拍手が送られました。

思い出の写真・資料②

「豊平会報」第90号で募集しました「北海学園大学同窓会デジタルアーカイブス」のための思い出の写真・資料をご紹介します。ご協力いただきました卒業生の皆様に感謝申し上げます。



昭和29年に開設された学生寮「誠之寮(セイシリョウ)」の入寮歓迎会にて
 左/昭和36年4月の入寮歓迎会
 前列中央は初代学長 上原鞆三郎先生
 右/昭和37年4月の入寮歓迎会
 提供：大井斗南夫さん
 (経1経12期・昭和40年卒業)

「同窓生のお店探訪」Vol.04にご登場いただいた
磯義司さんからのご紹介です。
TBS テレビ『マツコの知らない世界』
「スープカレーの世界」で紹介されたお店です！



gop のアナグラ 外観と店内

同窓生の
お店探訪
Vol. 06

**スープカレー
gop のアナグラ**

札幌市西区山の手三条 6 丁目 1-17
電話 011-612-6208
<https://gop-soupcurry.com/>

久保田 信さん
経済学部 1 部経済学科
第 34 期・昭和 62 年卒業

大学を卒業し、会社勤めやガラス職人などをやっていたが、ある日常連だったスープカレーの老舗「スリランカ狂我国」で「カレーやるかい？」と声をかけられ、あの美味しいスープカレーが毎日タダで食える、と大喜びで働き始めることになりました。

スパイスや他国の食文化は知れば知るほど大変面白く、腕を磨いて修行後、2005年に独立し、gopのアナグラを開店。食の興味は東南アジアから南アジア、中東方面まで広がり、毎年国内やどこかの国に行つて勉強し、いろいろなアイデアを持ち帰って限定メニューとして店で提供しています。

今風ではない、昔ながらのスパイスで勝負するマニアックな店なので常連が大変多く、カレーマニアやスパイスマニア、同業者が多く訪れる店になりました。もういいトシになりましたが職人の仕事に終わりは無く、鈍ってきた自分を研ぎつつ体が動くうちは毎日カレーを作って暮らしていこうと思っています。えー、頑張ります(笑)。



営業時間：11:30～21:30※売り切れ次第終了
(日・祝は11:30～20:30)
定休日：毎週水曜日、木曜日 駐車場：2台



Facebook



Instagram

豊平会100円満腹丼

学園大生の食を支援 100円 豊平会 満腹丼

※各日程 300 食限定
10:30～14:00・20:00～14:00～19:00
※お一人 1 食限り
※100円支払はGpayのみ可
※学生証の提示により1食100円限定で提供させていただきます。

10/16 (月) ミートソース・ハンバーグ丼
10/24 (火) オムハヤシチーズメンチカツ丼
11/1 (水) キーマカレー・チキンカツ丼
11/9 (木) 味噌ヒレカツ丼
11/17 (金) 鶏の胸しそ天丼

学食提供：よつ葉乳業株式会社

学生の食生活をサポートする同窓会 100円食堂「豊平会 100円満腹丼」が、令和5年10月16日(月)から11月17日(金)まで、週1回(計5日)、豊平キャンパス生協食堂にて1日300食限定で提供されました。

売価600円の内500円を同窓会が負担して安価で安心安全な食事を在學生に提供することを目的とし、5月～6月に1回目を実施しました。

2回目となる今回は、北海道の協力で、よつ葉乳業株式会社よりLL(ロングライフ)牛乳(200ml)が無償で提供されました。

すべての日程で完売し、前回同様大好評のうちに終了しました。

また、今回は、「同窓会 100円食堂」が、大学プレスセンターアクセスランキング(令和5年9月21日～10月20日)24位にランクインして、毎日新聞出版発行の『サンデー毎日』令和5年12月10日号に掲載されました。

今後も同窓会は在學生を応援する活動を継続していきます。

支部だより(支部総会写真)

2023(令和5)年8月以降実施分



江別市役所支部 (8.23)



東園会支部 (8.25)



ゆうほう会 (9.29)



東京支部首都圏会 (10.13)



江別支部 (10.14)



経八期会 (10.17)



会計学友会 (10.21)



稚内支部 (11.6)



北見支部 (11.10)



根室支部 (11.11)



旭川支部 (11.22)



釧路支部 (11.24)



豊陽会 (1.11)



北社会 (2.17)



硬式野球部OB豊門会 (2.23)

事務局からのお知らせ

◆新支部誕生 「硬式野球部 OB 豊門会」

令和5年度第3回幹事会で「硬式野球部 OB 豊門会」が、同窓会52番目の支部として承認されました。

◆役員退任

幹事 藤原 佳世氏 令和5年9月15日付
平成24年より本会運営にご尽力いただきました。
長い間、大変お疲れ様でした。

◆支部長交代

江別支部 令和5年10月14日付
本間 顯一氏 (支部長代理)
→ 本間 顯一氏 (短・土6期・昭和44年卒業)

◆評議員交代

江別支部 令和5年10月14日付
本間 顯一氏 (評議員代理)
→ 村松 光男氏 (法1法10期・昭和51年卒業)

◆北海学園大学『学報』・北海商科大学『学報』・北海校校友会『校友だより』

各校の学報や校友だよりは、下記QRコードよりご覧いただけます。

北海学園大学
『学報』



北海商科大学
『学報』



北海校校友会
『校友だより』



◆訃報

大越 誠幸氏
経1経9期・昭和37年卒業
元札幌市議 (昭和58年～平成23年)
元札幌市議会議員 (平成17年～平成19年)
卒業期評議員
(昭和52年～53年、平成25年～令和5年)
令和5年8月27日逝去 (85歳)

杉山 隆俊氏
経1経13期・昭和41年卒業
卒業期評議員 (平成11年～平成19年)
幹事 (平成12年～令和5年)
令和5年12月11日逝去 (82歳)

佐藤 忠氏
経1経10期・昭和38年卒業
卒業期評議員 (平成25年～令和6年)
令和6年1月26日逝去 (84歳)



謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◆同窓会ホームページ

同窓会からのお知らせ、各支部の総会の予定などはこちらから



住所変更の際はご連絡をお願いします

お手数でも同封の「住所等変更届はがき」(無料)、下記QRコードよりお知らせくださいますようお願いいたします。その他のご連絡、会報が不要な方は通信欄にご記入をお願いいたします。会報の発送作業の関係上、変更が間に合わない場合がございますので予めご了承ください。個人情報同窓会活動以外には使用いたしません。



北海学園大学同窓会

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40
TEL: 011-841-1161 (内線1148・1168)
FAX: 011-816-1001
E-Mail: doso.hgu@k8.dion.ne.jp
ホームページ: https://dousou.hgu.jp/



「黒猫の散歩道 旧小熊邸」

梅本 成利 作
経済学部1部経済学科 第29期・昭和57年卒業